



地域日本語支援ニュース こだま 第 373 号

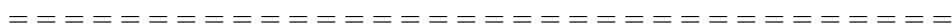
2020.1.9



◇◎◇ 新年 あけましておめでとうございます ◇◎◇

★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。



■ともに生きる：東京都江戸川区から■

昨年 11 月のある土曜日の午後、東京都江戸川区にある日本語教室「日本語サロン edobata」にお邪魔しました。色々な国から来日した学習者の方 50 人ほどが、支援者の方とペアになって、おしゃべりをしながらの活動に花を咲かせていました。日本語が上手な方、日本に来たばかりの方など、学習者はさまざまです。そんな中、何人かの方に、新年の過ごし方や国のお祭り、今年の抱負などについてお話を伺いました。

.....

学習者インタビュー 新年の過ごし方

■劉虎春さん（中国 重慶）

私、劉虎春です。劉備玄德の劉、寅さんのトラ、あの「男はつらいよ」の有名な。小さい時から日本の生活にあこがれて、日本で働いて、自分の好きな所で生活したい、だから去年日本に来ました。仕事です。最初日本に来た時、一か月全然話せなくて、ただ聞くだけでした。

—新年はどんなふうに過ごしますか。

去年は日本で過ごしました。あちこちの神社に行って自分の願うこと祈って、

神社に行った後、色々日本の新年を迎える食べ物を食べました。

中国は旧暦の新年を迎えます。1月中旬位が春節です。新年第1日目はまず、お墓参り。決まっています。お墓が中国では一つの場所に集中しています。お墓の場所が指定されて、だからお墓参りの時とても混んでいるんです。神様にお祈りではないです。自分は外国で仕事しているんですけど、春節のとき、家にちゃんと帰って家族と一緒に過ごします。お墓参り終わったら、夜家に帰って、家族みんないっしょに火鍋を食べます。重慶の火鍋は日本の火鍋と全然違います。とっても辛い。たぶん日本人食べられない。辛いものが普通です。地方によって、重慶と成都と四川、その三つのところが辛いもの好きです。新年は家族と食べる、雰囲気がちがいます。中国伝統のイベントだから。

私も小さいとき、新年が一番楽しみでした。おいしい食べ物食べられる。お年玉もらえる。一日目はそんな感じで過ごします。そのあとは、みな一緒に遊べるイベントやります。たとえば麻雀とか、旅行とか、できるだけ家族と一緒にできること。東京の生活のスピードがとても速いです。その状況をのりこえてゆっくり過ごすために、一週間、二週間ゆっくり休みます。仕事によって、半月の場合もあります。上海、北京、香港は日本と同じ忙しさです。南の方の人、例えば重慶とか、家に帰ったらゆっくりできる。

——日本では一年の初めに今年はこうしようと決めます。劉さんの抱負を教えてください。

なるほど、目標はもっと日本語が上達になるようにがんばります。そのあと、日本で暮らすことが楽しい、平和のためにがんばります。私の場合は日本にずっと暮らしても大丈夫です。この教室で一番の目的は日本人と会話すること。もう一つの目的は友達がほしい。一人暮らしだから。趣味に合わせるサークルに入って、友達つくる。順番で自分のできること、先ずここで日本語レベルを立ち上げて、そのあとみんなと会うようにします。楽しいです、私おしゃべりだから。

——ありがとうございました。

■ラクシミさん（ネパール）

日本語はネパールで少し勉強して、でも現地のネパールの方であんまりしゃべりができなかった。日本語上手じゃないから、すみません。

——いえいえ上手です。

ネパールの新年は、うちでお母さんがいろいろ料理とか作って、そういう風に。それから、新しい洋服とか買って、それからよい一年ありますように、と言葉を言って。それで、食事もパンミたいの作って、いろいろな種類の多く作ります。それから家族でいろいろ出かけます。一日だけ。二日、三日は普通の日です。

ネパールは小さい小さい祭りが多い。祭りの休みが多い、男の祭りとか、女の祭りとか、そういうの一杯あります。家族でご馳走食べたり、いろんな所行ったり、みんなで踊ったり、踊りはお祭りの時だけ。大事な祭りは、この間10月にダサインがありました。自分より歳が上の人が、ここ（額）にお米のティカをつけて祈願やってあげる。男も女も全部、年も関係ない。お母さんが私たちにやってあげます。私はバイティカの祭りでお姉さんが弟にやってあげます。お父さん、お母さんの家族とか、みんなの家に行きます。五日位毎日やります。長いお祭りです。神様にお祈りします。これからいい所に行ってください、とか、いいことやってください、病気ならないとか。私はじっとしています。嬉しい、安心する。

——一年のはじめにお願いをします、ラクシミさんは何を？

お願いは、できれば勉強したいなあ、いつも元気でいきたいなあ、とか。

——ありがとうございました。

■カリヤニさん・レバティさん（南インド）

新年はヒンズーのテンプルでお祈りします。甘い料理、あいさつします。お土産は甘いもの、家族、近所のともだち、皆さんに。甘い料理は作ります。インドの食べ物たくさん作ります。お菓子も作ります。食事もちょうとスペシャル。ベジタリアン、色々な人がいるから、色々な食べ物作る。お酒は家で、だめです。若い人やイングリッシュの人は外で。ランプで家の中デコレーションする、インドのオイルランプ。朝と昼シャワーを浴びて、新しい服を着る、お祈りします。家もみんな掃除します。食べ物は、南インドはライス。スペシャルはベリアニ。チキンベリアニ、マトンベリアニ、ベジタブルベリアニ、スパイスいっぱい入れて。新年はルナー（太陰暦）で。町で違います。町で言葉も違います。集まってお祈りします。私の新年ウガディは4月14日です。季節は暑いです。いつも暑いです。冬も暑いです。

——新年の抱負はありますか。

*カリヤニさん

私は子どもとてもいたずら。私は毎日とてもアングリー。ピースピース、アングリーない、これは私のニューイヤーズレゾリューション。インドも抱負？あります。みんなします。I should not get angry, peaceful.
——心穏やかに、ですね。頑張ってください。

*レバティさん

日本語もっと勉強したい。私の夫、日本語上手です。一緒に日本語で話したい。生活はやさしくなる、友達作る。言葉、間違えたくない。
——ありがとうございました。

■アニエイさん（北インド）

ニューイヤーは1月1日、ウォーシップ（礼拝）します。あまいお菓子を食べる。牛乳で作る。ディワリ（ヒンズー教の新年）は10月。大きいお祭り。 来年したいことは、ノーフェイスブック。仕事でネットやメールはするけど、SNS通信は時間の無駄（と、ここは英語で）。

■グレゴリーさん（ケニヤ）

私はケニヤから来ました。グレゴリーです。8月29日来ました。

——教室に来るのは2回目ですね。

（ここからは英語と日本語で）

ケニヤの人はほとんどクリスチャンで新年は教会に行きます。家族が国のあちこちから集まります。そして、ムスリム、クリスチャン、ヒンディー、みんな一緒にお祝いします、差別はしない。公園などでみんな一緒に楽しめます。

特別な食べ物、ニク、フィッシュ、チャパティ、ドーナッツ、スイーツ。ストリートキッズともシェアします。公園とかでお祝いする。料理は女性がする、男は牛をさばく。ケニヤでは伝統的に男性は作るのを許されない、でも都市では一緒に作ります。

今年は仕事を始めたい、国では6年間働いていた。音楽を教えていた、ドラム、ピアノ、歌。
——ありがとうございました。

どういたしまして（と、覚えたばかりの日本語で）。

注：「日本語サロン edobata」は、日本語ボランティア団体「国際江戸端会議」
が開いています。毎週土曜日午後 1 時 30 分～3 時 30 分に活動しています。

<http://www.edobata.tokyo/>
